

インスリン感受性と筋肉量/脂肪量の比率、内臓脂肪量に関する臨床研究へのご協力をお願い

研究責任者	所属	糖尿病センター	職名	センター長
			氏名	田中 逸

研究分担者	所属	糖尿病センター	職名	部長代理
			氏名	佐田幸由

	所属	内科	職名	内科医員
			氏名	内山修太郎

	所属	内科	職名	内科医員
			氏名	三原修平

	所属	内科	職名	内科医員
			氏名	永井 暁

このたび当院では、糖尿病が疑われて検査を受けられた外来患者さんの情報を用いた下記の医学的研究を当院倫理審査委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については厳重に行います。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8. お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1. 対象となる方

2016年4月1日より2030年3月31日までの間に、糖尿病が疑われて当院内科外来で75g-ブドウ糖負荷試験と体組成検査（体脂肪と骨塩を測定する検査）、腹部CT検査を受けられた方

2. 研究課題名

承認番号 横倫-202512

研究課題名 インスリン感受性に対する四肢筋肉量/脂肪量比率（M/F比）と内臓脂肪量の相関性の検討

3. 研究実施施設

横浜総合病院糖尿病センター

4. 本研究の意義、目的、方法

糖尿病の原因は膵臓から分泌されるインスリンが不足している、またはインスリンの効き目が低下している（これをインスリン感受性低下と呼びます）、この2つです。とくにインスリン感受性低下は肥満や運動不足に加えて、最近では加齢に伴う筋肉減少も関わっていると考えられています。そこで、本研究はインスリン感受性を改善して糖尿病の発症を予防する、糖尿病を治療するためには、どのような体格を目標とすればよいか、そのためにはどのような食事や運動を行えばよいかを明らかにする目的で行います。具体的には、匿名化した診療情報と検査情報を用いてインスリン感受性に四肢の筋肉量や脂肪量、両因子の比率、内臓脂肪量などがどのように関わっているのかについて検討を行います。本研究の成果は糖尿病の予防や治療を目指すための具体的な生活習慣改善の方法を確立する上で貴重な情報をもたらすことが期待されます。

5. 協力をお願いする内容

外来で行われた検査データ、診療データが匿名化された状態になっており、その情報を用いて解析します。特に今回新たに協力をお願いすることはありません。

6. 本研究の実施期間

「研究実施許可日」～2030年3月31日

7. プライバシー保護について

- 1) 本研究で取り扱う情報はすべて個人情報を削除して、どなたのものか一切分からない形で専用のコンピュータで管理します。
- 2) 専用のコンピュータで管理された情報は、研究責任者と研究分担者のみが取り扱います。
- 3) コンピュータに保存された情報は研究結果の発表から5年後にはすべて破棄します。

8. お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は下記までご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、直ちに適切な措置を行いますので、その場合も下記までご連絡をお願いいたします。なお研究への協力を辞退されても、ご本人の診療における不利益等は一切発生しませんので、どうぞご安心下さい。

対応者 糖尿病センター 田中 逸、佐田幸由

連絡先 045-902-0001（代表電話）

以上